

## 【男子3位決定戦】

くわがたミニバス (山梨)      42      前：20-21      後：22-16      戸田ミニバス (茨城)      37

くわがた、ハーフコートの3-2のゾーンディフェンス、戸田はオールコート2-1-2ゾーンディフェンスで第1Qスタート。くわがたは、⑦桜井のインサイド、⑧桜井のドライブ、ロングシュートなどで得点、一方戸田は、④池田⑦後藤のミドルシュートなどで得点し、12-10くわがたリードで第2Qへ。くわがたは、⑤篠田がインサイドで強さを見せ得点、戸田は、ディフェンスを2-1-2ゾーンに変えた。このディフェンスシステムが効いたのか、その後くわがたはなかなか得点することができず、逆に戸田⑤田中が1人で9得点し逆転、戸田が1点リードで前半終了。

3Qに入っても接戦が続いた。くわがたは、2-1-2ゾーンで守る戸田に対し、④長友⑥小姓堂の長い距離のシュートが決まり加点、戸田は④池田のスピードあるドライブプレーなどで得点し、戸田3点リードで最終Qへ。

戸田④池田のロングシュートや、⑧宮崎への素晴らしいパスが決まり、やや点差が開きはじめた。しかし、残り3分、くわがた⑦桜井のリバウンドシュートを皮切りに、くわがたディフェンスに勢いが出はじめた。速く強いプレッシャーから、高い位置でボールを奪い合い、次々と得点、残り2分を切ったところで、くわがた④長友が、パスカットからそのままシュートを決め逆転に成功、流れは完全にくわがたに傾いた。戸田も力を振り絞り、オールコートプレスでボールを奪おうとよく走ったが、得点が奪えず、42-37でくわがたが勝った。

3位決定戦らしく、スピードあふれる戦いであった。両チームの健闘をたたえたい。

文責 伊藤 雅則

## 第18回関東地区ミニバスケットボールTOMIURAさざ波大会 戦評

### 【男子決勝】

村上イーグレッツ 32 前：15-17 習台二MBC  
Boy's (千葉) 後：17-16 33 (千葉)

県内屈指の好カードとなった決勝戦。過去2戦とも競り負けている気負いから、立ち上がり固さが目立った村上だが、⑨田村の闘志あふれるプレーから徐々にペースに乗っていった。これに対し、習台二はエース④入江のショットがたてつづけて決まり、いつものスタートがきれた。しかし、習台二にとって過去の対戦とは異なり点差が開かず、高さでは不利な後半に向けて若干不安を残し、15-17の2点差で前半を折り返した。

後半に入ると、④小松を中心に多彩な攻めを見せる村上がゲームを優位に進めたが、習台二④入江が、ミドルショット、ドライブ、リバウンドとエースの本領を發揮し、村上に食い下がった。一進一退の攻防は残り30秒を切ってからも続き、手に汗握る希にみる好ゲームとなった。残り時間9秒、村上④小松のドライブが習台二のファウルを誘った。惜しくもバスケットカウントは逃したものの、ツースローを決め、32-30とした。村上がほとんど勝利を手中におさめたかのように見えた。が勝利の女神は微笑んではくれなかった。残り時間3秒、習台二④入江が果敢にドリブルからショットに持ち込み、バスケットカウント。ワンショットも確実に決めた習台二が競り勝ち、33-32と劇的な勝利をおさめた。熱戦を繰り広げた両チームの選手たちに、会場から惜しみない拍手が送られ、第18回のさざ波大会も幕を下ろした。

文責 大網 栄治

最優秀選手 男子

習台二MBC (千葉) 4番 入江 浩平 選手